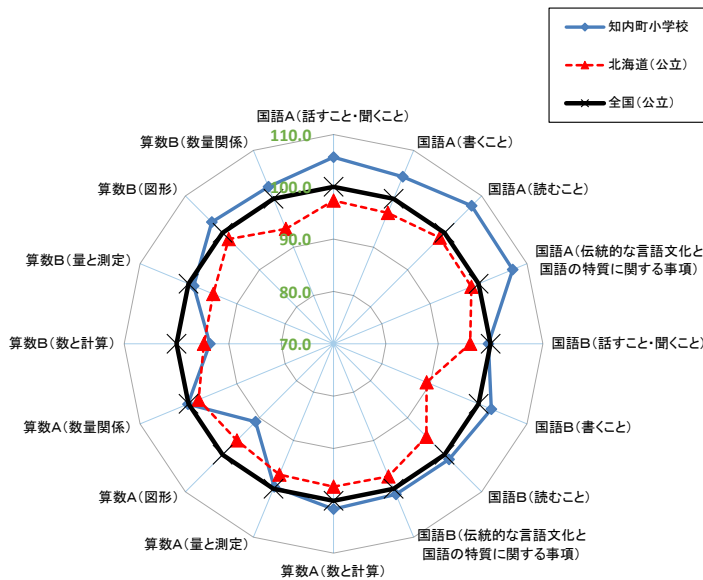


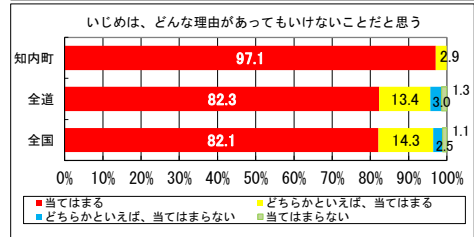
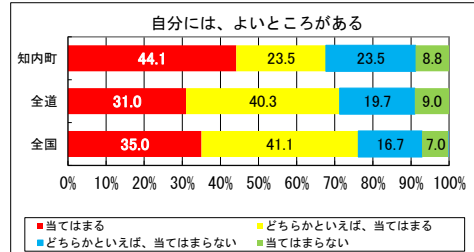
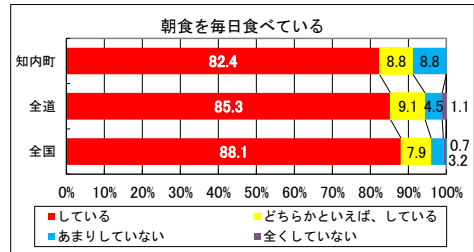
■ 知内町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:3校、児童数:34名)

【教科全体の状況】

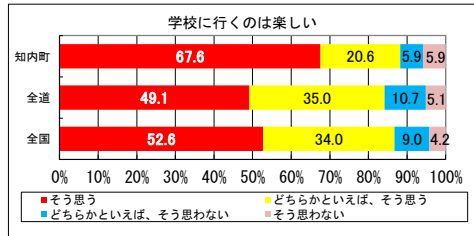
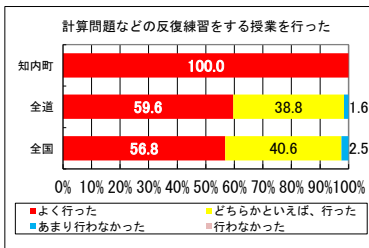
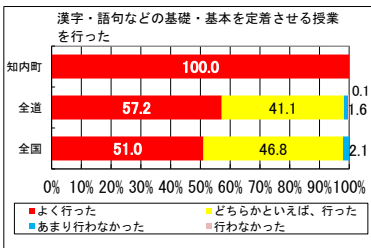
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したのもの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

| | | |
|-------|--|---|
| 教科 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平均正答率が、国語A・Bともに全国・全道を上回り、算数A・Bともに全道を上回った。 ○ 国語Aではすべての領域で、算数Aでは「数と計算」「数量関係」で、全国・全道を上回った。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学校で、基礎的・基本的な学習内容の定着を図るための授業改善を行ったことにより、学力向上が図られ、「学校が楽しい」と感じる児童の増加につながった。 |
| 児童質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「自分にはよいところがある」「学校に行くのは楽しい」と思っている児童の割合が、全国、全道より高い。 ○ すべての児童が、「いじめは、どんな理由があってもいけないこと」という認識をもっている。 ○ 朝食をしっかりと取っていない児童が8.8%いることが課題である。 | |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ すべての学校が、漢字・語句など、基礎的・基本的な事項を定着させる授業や、計算問題などの反復練習をする授業をよく行っている。 | |

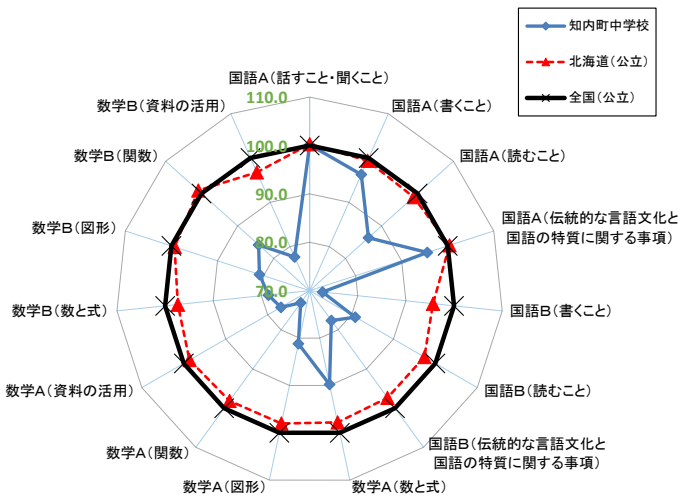
【知内町の学力向上策】

- ◎ 学びの連続性を確保するための幼小連携、小中連携など、一貫教育の取組の推進。
- ◎ 経験の浅い教員の授業力向上に向けた計画的な研修の実施。
- ◎ 情報機器等の充実など、児童の学習意欲を高め、効果的な学習活動を実践できる環境の整備。

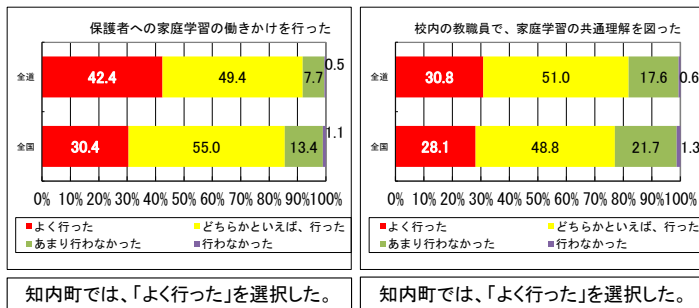
■ 知内町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:38名)

【教科全体の状況】

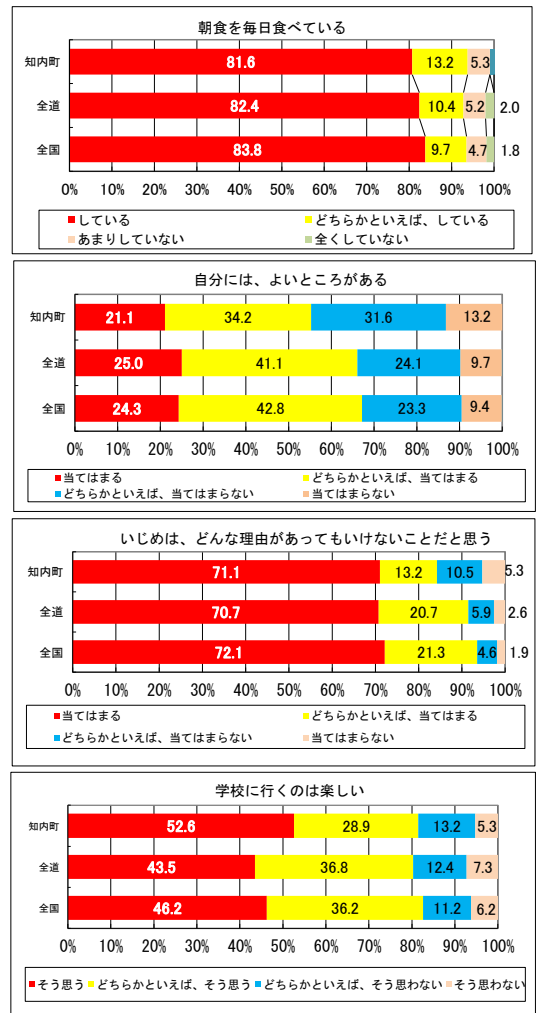
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【学校質問紙調査】



【生徒質問紙調査】



【分析】

| | | |
|-------|---|--|
| 教科 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平均正答率は、国語A・B、数学A・Bとも昨年度より全国平均との差が縮小している。 ○ 国語Aの「話すこと・聞くこと」は、全国平均を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭学習の時間や内容について、校内で共通理解を図り、保護者に積極的に働きかけを行ったことにより、昨年度に比べ、基礎的・基本的な学習内容の定着が図られてきている。 |
| 生徒質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「学校に行くのは楽しい」と思っている生徒の割合が、全国、全道より高い。 ○ 「朝食を毎日食べている」「自分にはよいところがある」と回答している生徒の割合が、全国・全道よりやや低い。 ○ 15%以上の生徒が、いじめの認識について否定的な回答をしていることが課題である。 | |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「家庭学習の与え方について、校内の教職員で共通理解」をよく図るとともに、「保護者に対して生徒の家庭学習を促すような働きかけ」をよく行っている。 | |

【知内町の学力向上策】

- ◎ 学びの連続性を確保するための小中連携など、一貫教育の取組の推進。
- ◎ 経験の浅い教員の授業力向上に向けた計画的な研修の実施。
- ◎ 情報機器等の充実など、生徒の学習意欲を高め、効果的な学習活動を実践できる環境の整備。